

【道徳・小4・「相手の気持ちに寄り添って」 B 親切、思いやり】①

育成を目指す資質・能力

相手の置かれている状況や気持ちを考え、相手に寄り添い親切にしようとする心情を育てる。

ICT活用のポイント

思考を可視化し、全員の考えを共有し、意見交流を図ったり、自分の考えを深めたりすることができる。

【導入】

問題意識をもつ

思いやりとはどのようなことをいうのでしょうか

【展開】

教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する

その場を去ったゆうきさんの行動は思いやりがあると言えますか

道徳的価値に対する多様な意見を知り、めあてについてもう一度考える

【終末】

道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る

事例の概要 教材名：「ゆうきの心配」（東京書籍）

【事例におけるICT活用の場面①】

- 中心発問に対する考えについて、学習支援サイトのデジタルカードの背景の色（言える：赤、言えない：青、どちらでもない：緑）を変えて意思表示し、理由を簡単に手書き入力する。
- 全員の考えを共有し、意見交流する。

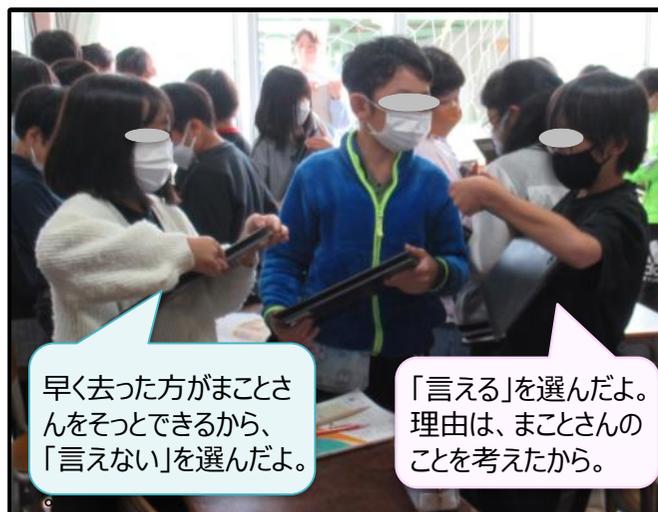
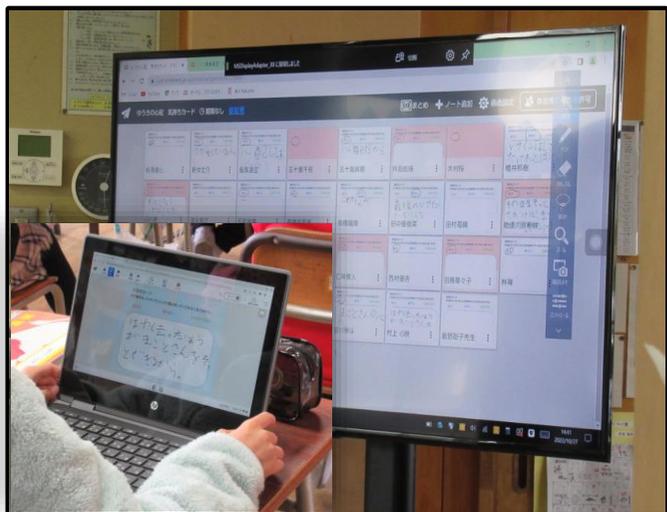
【事例におけるICT活用の場面②】

- めあてについてもう一度考える場面で、道徳的価値に対する自分の考えを付箋に入力する。
- 全員の考えを共有し、学習支援ソフトのリアクション機能を活用して意見交流し、自分の考えを深める。

【道徳・小4・「相手の気持ちに寄り添って」 B 親切、思いやり】②

【事例におけるICT活用の場面①】

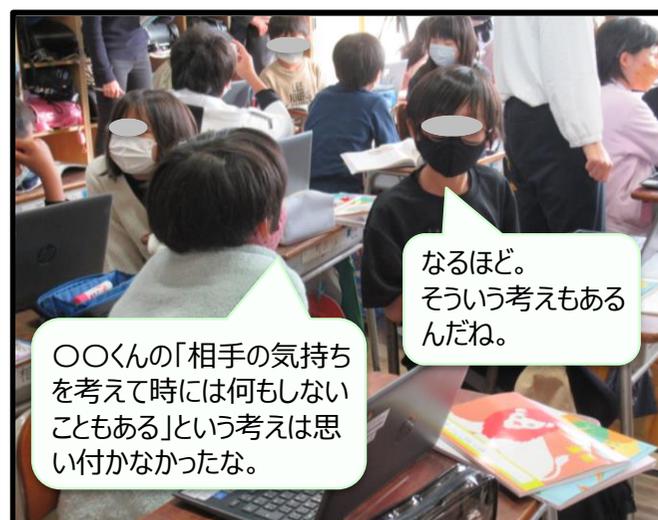
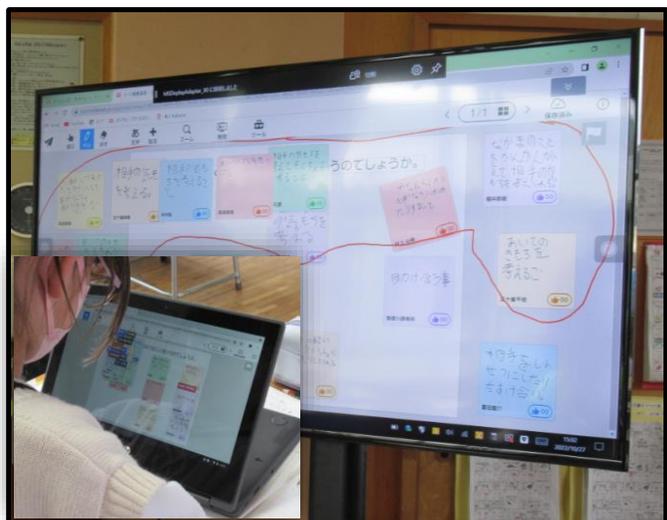
カードの背景の色で意思表示し、全体の考えを視覚的に把握しやすくする



大型モニターに映し出されたカードを見ることで、全員の考えを視覚的に把握できるため、意見交流では、自分の考えとの共通点や相違点に着目して友達と話し合うことができる。また、話すことが苦手な児童も、ICT端末を示しながら話すことで安心して自分の考えを伝えることができ、意見交流の充実につながる。

【事例におけるICT活用の場面②】

付箋に入力した考えを共有し、類似意見をまとめ、リアクション機能を活用し交流する



付箋を移動して類似した意見をまとめることで、全員の考えを視覚的に整理することができる。付箋を読んで多様な考えに触れ、共感した友達の意見にはリアクション機能の「いいね」ボタンを押して、その理由を交流し合ったりすることで、考えを広げたり深めたりするとともに自分の考えに自信をもつことにもつながる。